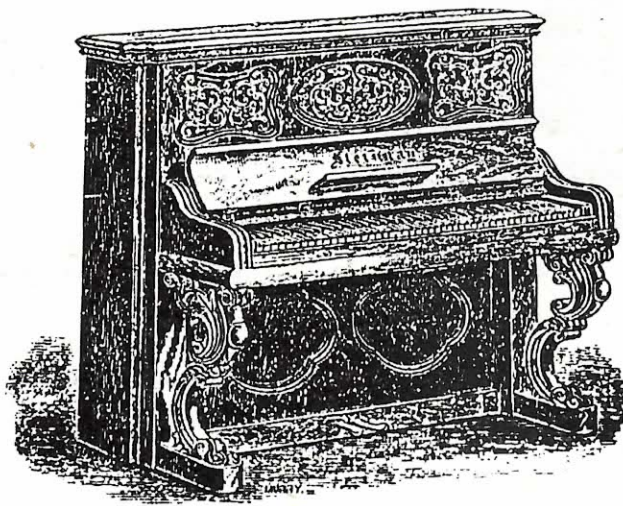


ANCIENT EGYPTIAN ART & MAGIC
MEMORIAL CONCERT

Steinway / 1874



No. 2-7 OCT.-ROSEWOOD. UPRIGHT OR BOUDOIR PIANO.
Same instrument as No. 1, with handsome case; extra carved legs and fretwork panels.
Height, 3 feet 10 inches; width, 4 feet 10 inches

記念コンサート
エジプト美術展によせて
～愛を歌う～

本展を記念して、古代エジプトを舞台にしたオペラ『アイーダ』を始めとする、愛をテーマにした歌とピアノのコンサートを行います。今回使われるピアノは、『アイーダ』の作曲(1870年)と同年代にスタインウェイ社で作られた貴重なアップライトピアノ(1874年製)です。偶然ですが同じ頃、群馬県の富岡製糸場にもスタインウェイのアップライトピアノが置かれていました。コンサートでは、富岡製糸場と関わりの深いフランス人作曲家の作品も演奏されます。巡り合わせた時代の歌と古いピアノの音色をどうぞお楽しみください。

日時：2016年2月14日(日)

14:00～15:00 [申込不要・無料]

会場：群馬県立館林美術館 エントランスホール

演奏者：勝又晃(テノール) | 永井美加(ソプラノ) | 近藤陽子(ピアノ)

[第1部]

オペラ『アイーダ』より/G.ヴェルディ

- | 1 | ～凱行進曲～ ピアノ演奏
- | 2 | ～清きアイーダ～ テノール独唱
- | 3 | ～バレエ音楽～ ピアノ演奏
- | 4 | ～勝ちて帰れ～ ソプラノ独唱

[第2部]

富岡製糸場に関連して

ポール・ブリュナ夫人ゆかりのピアノ曲

～ヴェンツァーノの主題によるワルツ～
(ルイ・ルフェビュール＝ヴェリール作曲)

[第3部]

日本の歌・イタリアの歌より

- | 1 | “初恋” 作詞：石川啄木／作曲：越谷達之助
- | 2 | “落葉松” 作詞：野上彰／作曲：小林秀雄
- | 3 | “勿忘草” イタリア民謡
- | 4 | “帰れソレントへ” イタリア民謡

※プログラムは変更となる場合がございます。

使用ピアノ：スタインウェイ Small アップライト スタイル2 NY製 Black Walnut, 85鍵 | 協力：ピアノプラザ 群馬

記念コンサート

エジプト美術展によせて

～愛を歌う～



◎使用ピアノについて

スタインウェイ Small アップライト スタイル2 NY製 Black Walnut, 85鍵。製造後、1874年11月21日に米国ニュージャージー州のエリザベスさんへ納品されました(NY本社工場記録)。スタインウェイはこの当時はドイツのハンブルク工場(1880年～)は無く、ニューヨークの本社工場で製造されていました。

◎オペラ『アイーダ』

あらすじ:エジプトの敵国エチオピアの王女アイーダは、エジプトに奴隷として捕らえられ、エジプト女王のお世話役として働いていました。密かにエジプトの將軍ラダメスと愛し合っていたアイーダは、父エチオピア王の言いつけで、エジプト軍の情報をラダメスから聞き出します。情報を漏洩したことが知られたラダメスは死罪となります。ラダメスを愛していた女王は、結婚するなら命を助けるとかけあいますが、ラダメスはそれを断り、アイーダと共に、天国で結ばれることを祈りながら地下牢で静かに死を迎えたのでした。

『アイーダ』は、1869年のスエズ運河の開通記念祝典のためにエジプト総督よりヴェルディに作曲が委嘱されました。実際には祝典より後となりましたが、1871年にカイロで、1874年にはウィーンで初演されました。

◎富岡製糸場とピアノ

富岡製糸場(1872(明治5)年操業開始)の指揮をとったフランス人ポール・ブリュナの妻エミリは、父が作曲家のルイ・ルフェビュール＝ヴェリー、母はオペラ歌手と、音楽一家に育っています。富岡製糸場でエミリが使っていたピアノ2台のうち1台はプレイエルのグランドピアノ、もう1台がスタインウェイの小型アップライトピアノだったことが最近明らかになりました。ピアノは、1871(明治4)年に横浜に入港し、翌1872年に製糸場に搬入されています。まだ日本ではピアノが製造されず、外国から数台しか入っていない時代、日本の近代産業の幕開けの場である富岡製糸場には、近代生活の象徴とも言えるピアノの音色が響いていたのです。

群馬県立館林美術館

〒374-0076 群馬県館林市日向町2003 tel:0276-72-8188 fax:0276-72-8338
<http://www.gmat.pref.gunma.jp/> www.facebook.com/gunmatatebi
 「古代エジプト美術の世界展 - 魔術と神秘 -」2016年1月5日(火)～3月21日(月・祝)



勝又 晃
(テノール)

国立音楽大学卒業。田口興輔、故中山純一、南條年章、松谷和紀、カルラ・ヴァンニーニ各氏に師事。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。'90～'93渡伊。ミラノ音楽院にて研鑽を積む。第14回太陽カンツォーネ・コンクール第2位。第19回イタリア声楽コンクール入選。オペラでは、プーランク「カルメル会修道女の対話」(騎士フォルス)、「椿姫」(アルフレード)、「蝶々夫人」(ピンカートン)、「トスカ」(カヴァラドッシ)、「こうもり」(アルフレード)、「カルメン」(ドン・ホセ)、「ラ・ボエーム」(ロドルフォ)、「魔笛」(タミーノ)、「ナブッコ」(イズマエーレ)、手塚治虫原作青島広志作曲オペラ「火の鳥」、永井荷風作歌劇「葛飾情話」等に出演。特に2003/04年岡村喬生演出・総監督＝みんなのオペラ＝「蝶々さん」では、2年連続ピンカートン役を、2005年同オペラ「魔笛」ではタミーノを好演。尚、それらの公演はDVDにて発売された。イタリアではジェノヴァ市にて国際船と海の博覧会コンサート、ミラノ近郊ガッラーテ市主催によるオペラコンサート等イタリア国内他多数のオペラ、コンサートに出演。帰国後、東京都庁にて東京our's'96、1998/99年富士山国際音楽祭、2004年長崎出島音楽祭にて漫画家・声楽家の池田理代子女士と共演。2006年仙台クラシック・フェスティバル等に出演する。「第九」「メサイア」、ドヴォルザーク「スタバト・マーテル」等のソリストを務める。



永井美加
(ソプラノ)

高崎市出身。国立音楽大学卒業。高崎市のロビーコンサートや前橋テルサのオーブニング及び、1周年、10周年記念ロビーコンサート、群馬経済同友会、高崎観音建立70周年記念式典コンサートや東京、丸の内で開催された高崎ビジネス誘致キャンペーン2013でのコンサート等に出演。県内外の演奏活動の他、オペラ「蝶々夫人」、「トスカ」のハイライト、「椿姫」、「ヘンゼルとグレーテル」、「魔笛」等に出演。また、イタリアのシチリアにてベッリーニ大歌劇場の副音楽監督で常任指揮者L.カタラノット氏のマスタークラスに参加、デュプロマを取得。F.リッチャルディ、M.グリエルミ、G.コスタンツォ、T.ドゥカーティ、大石正治、出来田三智子、角田和弘の各氏に、日本歌曲を塚田佳男氏に師事。2008年「第1回群馬こどもの国童謡・唱歌コンクール」第1位、県知事賞受賞。2012年、高崎シティーギャラリー・コアホールにてリサイタルを開催、好評を博した。群馬音楽協会、群馬オペラ協会会員。



近藤陽子
(ピアノ)

東京音楽大学ピアノ専攻卒業。第1回群馬ピアノコンクール中学生の部にて優秀賞、第10回日本ピアノ教育連盟ピアノオーディション奨励賞、本選進出。第36回高崎新人演奏会に出演。2000年、高崎シティーギャラリー・コアホールにてリサイタルを開催。第6回榛名梅の里音楽祭&「日本の歌」スプリングセミナーにて伴奏コース奨励賞受賞。第31、33回草津国際音楽アカデミーにてアントニー・シビリ氏のマスタークラスを受講、スチューデントコンサートに出演。これまでにピアノを風岡裕子、西川秀人、播本枝未子、倉沢仁子、森早苗の各氏に、室内楽を風岡優氏に、日本歌曲伴奏法を塚田佳男、関定子の各氏に師事。歌曲によるコンサート、タレントグループ主催によるコンサートに定期的に出演するなど演奏活動を行っている。高崎演奏家協会、群馬オペラ協会、東京リラの会会員。『日本の歌をうたう会』伴奏者。